

### Q 国保が県に移行されれば自治体の負担が増えるのでは A 住民の負担増にならないよう関係機関に要望していく



浅野富男議員

住民の負担増にならないよう、医療水準に見合う税率になるよう県などに引き続き要望していく。

### 問 医療保険制度とはいつても社会保障制度の位置づけ

で行われている。だからこそ町村は税負担の軽減措置にも取り組んできたが、市町村独自の税の軽減措置について現在の県の姿勢はどのようなものか。

### 保健福祉課長 町では所

保税の7割、5割、2割の軽減措置があり被保険者の約半数が軽減

されている。また病气や災害により生活が著しく困難になった場合、申請による減免制度もあるが、従来と同じく対応することとしている。

### 問 都道府県は国保事業に必要な費用を市町村に納付金として割り当てるが、この納付金は完納することが義務となる。どんな計画で臨むのか。

課長 県から示された納付金に対し、国保税取納額が不足した場合は町の保険給付費準備基金で補填する。基金がない場合は県の財政安定化基金から借入れを行うが、返済を伴うので公平で適正な収納に努める。

### 問 高齢化のピークとされる2025年に向けて、病床

総合病院は回復期の入



地域医療に重要な役割を担う公立藤田総合病院

院患者を支援する地域包括ケア病棟を設置するなど先進的に取り組んでいる。

### 問 公立病院改革ガイドラインを示している中で、公立藤田総合

病院は自治体病院としての位置づけが重要と考える。進むべき方向性をどのように考えるか。

### 保健福祉課長 公立藤田総合病院

は、平成29年3月に、ガイドラインを受けて新改革プランを策定した。地域医療の中核として重要な役割を担っており、構成市町とともに病院経営の安定化に向けて支援していきたい。

### Q 中尊寺ハス池に柵が設置されたのはなぜか A 指摘を受け育成会や地権者の理解を得て設置した



村上正勝議員

中尊寺ハス池 については町の観光地として訪れる人が増えてきた。しかし、今年ハス池が設置されて立ち入れない状態になっており、のほりも撤去されている。なぜこのような状況になっているのか。

### 問

まちづくり 柵については、県北農林事務所より一般の駐車場と同様ではないかとの指摘があった。ハス育成会、地権者と協議を重ね、理解をいただいで一般の車両が駐車できないよう、育成会と地権者で設置したものである。駐車し

話があり、その関係でのほりの設置をしないで考えている。

### 問 阿志山防壁と中尊寺ハス池は町の観光の目玉で

できないが、歩いて行くのには問題はない。また、のほり撤去については、今年ハスの開花が遅く期間も短いということ、育成会から開花式や講演会を行わず、育成の技術的な部分に注力したいという話があり、その関係でのほりの設置をしないで考えている。



一般車両の進入防止のため設置された柵

あるが、これに水を差すような問題ではないか、規制して人が来なくなったら困るのではないかとこの声もある。今後どのように整備していくのか。

### まちづくり 中尊寺ハス池のある

下二重掘地区については、農用地区域になっている。農地法上の制約もあり、町としては法や条例の規定に従って、史跡公園として整備すべく現在手続を進めている。

### 県北浄化センターグラウンドの砂ぼこり対策は

### 問 今年の春の強

風により、県北浄化センターグラウンドの砂が舞上がり、周辺のモモ畑や川内地区で大変な被害があった。この対策について、県など関係機関と協議しているものと思うが、どのような要望をしているのか。

### 上下水道課長 除染作業

の際に土を入れ替えたことによるものと聞いている。当面の対策として散水車による散水体制を取っているが、抜本的な対策を県北浄化センター側に求めており、長期的な対策を現在検討中である。

### 問 散水車での対応は根本的な解

決にはならない。周辺のモモなどに被害があった場合は補償問題にもなると思うがどうか。

町長 グラウンドは下水道事業用地を有効に活用するため設置されたと聞いている。一般的なスポーツ施設とは異なり、土壌改良などの行き届いた維持管理は難しいが、県などには折あることに、根本的な対策を強く要望している。砂の上に草が生えるのが一番だと、専門家とも協議し方向性が出ているとのことだ。しかし、時間がかかるため、当面は即効性のある散水車を常駐させスピーディーに対応できるようにしている。町としてもモモや生活環境への影響が最小限になるよう今後も強く要望していきたい。